

米国環境保護庁
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2012年6月29日

画像機器パートナーまたはその他関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、ENERGY STAR®画像機器基準バージョン2.0の第2草案に対する意見を歓迎する。関係者は、2012年7月30日までにEPAに対して意見を提出することが奨励される。

試験方法の確定版

米国エネルギー省（DOE）は、新たなバージョン2.0基準に基づいた製品試験に使用される手順と条件を説明する、ENERGY STAR試験方法の策定と検証を完了した。2012年2月24日に関係者に向けて配信された試験方法の最終草案について受け取った意見は、ENERGY STARウェブサイト

（www.energystar.gov/revisedspecs）に掲載される予定である（「画像機器（Imaging Equipment）」をクリックする）。

第2草案における変更

本草案には、第1草案について関係者から受け取った意見、3月の対面式会議において示された意見、および個別の関係者とのその後の協議における内容が取り入れられている。質問および重要な協議課題は、基準の草案全体にわたり示されている注記枠において明記されている。

修正された性能基準値案の策定において、EPAは、市場において現在入手可能な3000モデルを超える画像機器のデータを再度分析した。当該データは製品特定情報を非公開にしてENERGY STARウェブサイト（www.energystar.gov/revisedspecs）に掲載される予定である。

バージョン2.0基準の第2草案には、以下の主な第1草案からの変更が含まれている。

1. 製品群（ファミリー）：EPAは、製品群（ファミリー）内において許容可能な差異の範囲拡大を提案している。
2. デジタルフロントエンド（DFE）：EPAは、新たなDFEの定義および、ネットワーク対応スリープモードを有するDFEと当該スリープモードの無いDFEに対する、新たな稼働準備（レディ）モード消費電力要件を提案している。
3. 自動両面要件：EPAは、自動両面機能が義務付けられる速度の引き上げを提案している。
4. 最大TEC要件：EPAはデータを更新し、製品区分を4つに戻した。またEPAは、より多様な製品の選択を可能にするために、最大TEC要件を調整した。
5. OMスリープモード要件：EPAは、最近の適合製品を追加してデータを更新し、2010年よりも古いモデルをデータから削除した。関係者の意見に基づき、EPAは、提案されている追加機能による製品適合への影響についても検討した。一部の追加機能（特に電源装置）の追加や、他の追加機能に対する修正を行ったことにより、再分析の結果は、多くの場合において第1草案の水準が適切であることを示した。しかしEPAは、一部の製品分類に対して幾つかの変更を提案しており、これら変更は本基準の注記枠に詳述されている。

6. 毒性および再利用性の基本要件：エネルギー消費効率を引き続き上位性能製品を選択する際の基礎とする一方で、EPAは、すべてを含めた製品性能が非適合製品と比較して確実に維持されるようにするために、ENERGY STAR基準において製品性能の他の側面に関する特性に適宜対処する。追加特性を含めることにより、ENERGY STARプログラムは、ラベルが、低品質のモデル、あるいは消費者や社会の幅広い関心に対応していない特性を有するモデルと関連付くのを回避するように努めており、そうすることによって市場におけるラベルの影響力を維持することができる。製品適合基準に毒性および再利用性の要件を含めることは、国際的な整合化の妨げになるという多くの関係者の懸念に応じて、EPAは、代わりにこれら基準を米国市場に固有のENERGY STAR画像機器パートナーの責務に記載することを提案している。そのためEPAは、適合基準から第3.6節の毒性および再利用性の要件を削除した。さらに、意見に応じて、EPAは、EU RoHSと整合させることがEPAの意図であり、毒性および再利用性の要件が第三者認証の対象ではないことを、パートナーの責務に注記した。

7. 発効日：EPAは、2012年10月までに画像機器基準の本バージョンを確定することを提案しており、この場合発効日は2013年7月となる。

関係者は、2012年7月30日までに、第2草案に関する意見を提出することが求められる。意見は電子メールにて imagingequipment@energystar.gov宛に送信すること。受け取ったすべての意見は、意見提出者が自身の意見を非公開にすることを特に求めない限り、ENERGY STAR基準策定ウェブサイトに掲載される。

第2草案について協議することを目的とした画像機器に関するオンライン会議

8月15日 11AM（東部標準時）に、EPAは関係者とのオンライン会議を開催し、ENERGY STAR画像機器基準バージョン2.0の第2草案における変更やこれまでに実施されたデータ分析の詳細を提示すると共に、これら変更案に対する関係者の質問や懸念に対応する予定である。本会議への出席を希望する場合には、2012年8月6日までにimagingequipment@energystar.gov宛に参加登録をすること。

EPA、業界、および他の関係者間で意見や情報を交換することは、ENERGY STARの成功に不可欠である。ENERGY STAR画像機器基準の改定におけるEPAの取り組み状況を見たり、意見を再検討したりする場合には、基準策定ウェブサイト (www.energystar.gov/RevisedSpecs) にて「Imaging Equipment」を選択すること。

ENERGY STARに対する継続的な支援に感謝する。本基準改定に関する質問や意見は、EPAのChristopher Kent (kent.christopher@epa.gov / (202) 343-9046) またはICF InternationalのMatt Malinowski (matt.malinowski@icfi.com / (202)862-2693) に連絡すること。試験方法に関する質問については、DOEのBryan Berringer (Bryan.Berringer@ee.doe.gov / (202)586-0371) に連絡すること。

Sincerely,

Christopher Kent
Product Manager Imaging Equipment
ENERGY STAR Program